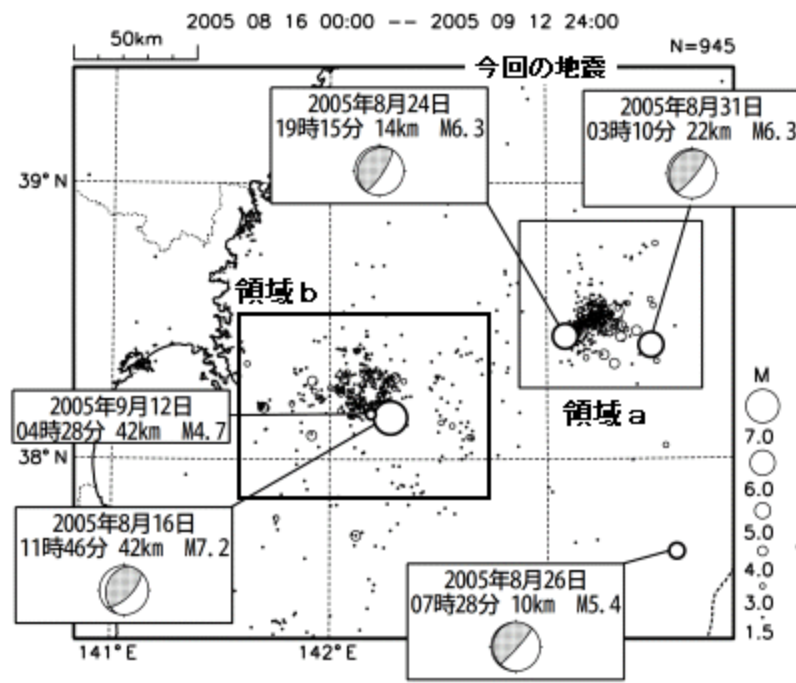


8月24日、31日 宮城県沖（海溝寄り）の地震

A

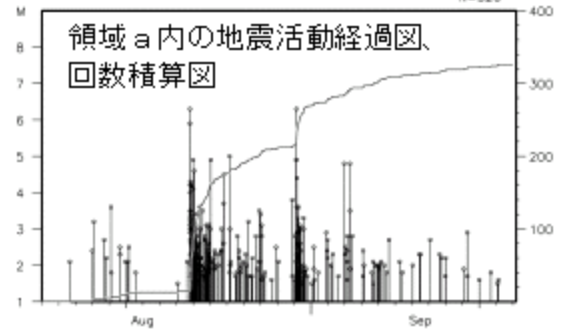
震央分布図（2005年8月16日以降、 $M \geq 1.5$ ）



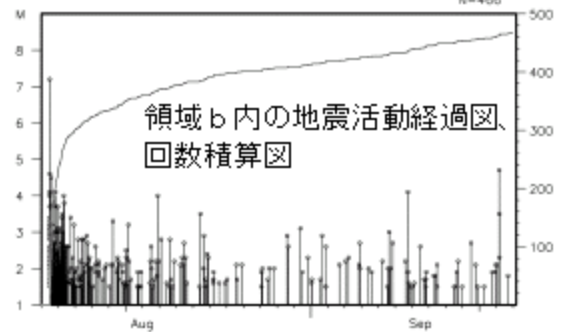
発震機構はCMT解（下半球投影）

2005年8月16日の宮城県沖の地震（ $M7.2$ ）の数日後から、さらに東側の海溝寄りで地震活動が始まり、8月24日に $M6.3$ の地震[宮城県沖]、さらに8月31日にも $M6.3$ の地震[三陸沖]が発生した。これらの地震は太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した地震と考えられる。地震活動は9月に入って減衰しつつある。また、8月26日には福島県沖の海溝寄りでも $M5.4$ の地震（最大震度2）が発生した。この地震の余震は観測されていない。（**A**）

2005 08 16 00:00 -- 2005 09 12 24:00



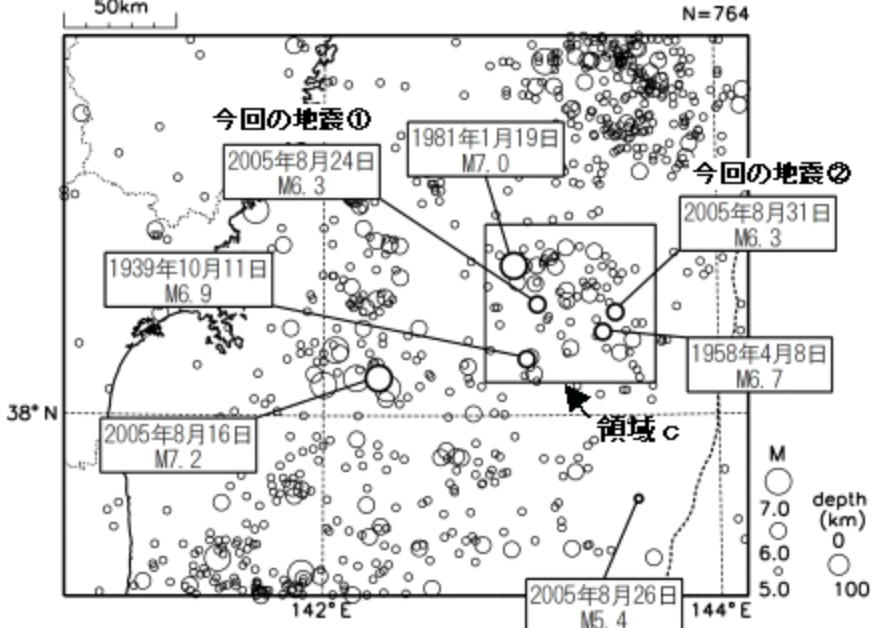
2005 08 16 00:00 -- 2005 09 12 24:00



B

震央分布図（1923年8月以降、 $M \geq 5.0$ ）

1923 08 01 00:00 -- 2005 09 01 24:00



1923年8月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近では、過去に $M6 \sim 7$ の地震が数多く発生している。1978年宮城県沖地震の後、数年間程度活発な活動がみられ、1981年1月19日には $M7.0$ の地震が発生した。（**B**）

1923 08 01 00:00 -- 2005 09 01 24:00

